

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス	代表者	柳澤 秀樹	法人・事業所の 特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・法人共通介護方針として、①個別ケア、②認知症ケア、③看取りケア、④地域ケアの4つのケアを大切に、地域に密着した介護改革と社会貢献を目指す。 ・有料老人ホーム併設の特性を生かし、在宅で支えきれなくなった高齢者をなじみの関係性の中で継続してケアすることができる。 ・市街地から離れた田畑の中に立地し、静寂な環境の中で過ごすことができる。 ・高速インター近く、県外などからの車の移動に適している。
事業所名	小規模多機能 あったかほーむエフビー 日高	管理者	北澤 綾美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	1人	人	1人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員で自己評価に取り組んでいくようにしてゆく。 ・出来ていないことに関しては職員同士で話し合いを行い、共通認識を持つてゆく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員自己評価は達成 ・人員不足が続き、朝礼や夕礼での報告はできても、改めてその事案に対してミーティングという時間をとることがなかなかできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤スタッフ全員事業所評価にかかわれている。 ・何度やってもこの外部評価の地域関わりシートがわかりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめにミーティングとして事案について話し合い経過を追い再評価するPDCAサイクルを通常化する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・あんしんセンターと協力して『笑顔の会』に参加してもらう地域の方を募ってゆく。 ・事業所に気軽に立ち寄りいただけるように声掛けをしてゆく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ情勢により、前年度まで行ってきた外部との交流はすべて中止。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣を歩く方に挨拶をしている。 ・地域の方から野菜をいただくなど時折交流がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを使わない近隣の方や高齢者の方や住民の方にも事業内容が見えるように掲示板を検討する。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事を把握し、計画的に参加できるようにする。 ・事業所イベントに地域の方が多く参加していただけるようお知らせしてゆく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での催しごとすべてコロナ情勢により中止。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部挨拶をしない職員もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ情勢の動向により地域の関わりも変化してくると思うが、以前の生活様式に戻ってきた時には積極的に地域に出向き、またボランティアの受け入れも行ってゆく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・イキイキサロンやカラオケ大会に参加させていただく。 ・外出イベントは継続して計画し、実施してゆく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ情勢により、前年度まで行ってきた外部との交流はすべて中止。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出や面会に制限が生じ利用者様のストレスや機能面の低下が目についた。 ・民生委員からの相談によって利用者様の家族の介護認定のお手伝いなど、世帯として難しい家庭の情報共有が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ情勢の動向により変化はあると思うが、『おいしいものを食べたい』『気分転換に出かけたい』といった日々の欲求に可能な限りこたえられるように、余裕の持てる職員配置持続めざし、離職防止と黒字化運営をしてゆく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での取り組みや困りごとを運営推進会議で共有してゆく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ情勢により直接開催ではなく書面開催。直接やり取りができない分、詳細に状況を伝えられるように記載した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書面開催によりアンケートでの意見聴取であったが、要望として挙げてきたことにはすぐに対応し変化に気付いてもらうことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ情勢の動向により変化はあると思うが、地域の活動（廃品回収や運動会の見学など）に可能な範囲で参加する。

F. 事業所の 防災・災害対策	・防災訓練の計画を運営推進会議の中で伝えてゆく。	・年2度の防災訓練は行っている。書面開催資料内で詳細はお伝えできていない。	・事業所評価を見て地域の関わりシートに落とす際にこの項目は資料として見えにくいいため、評価をするうえで補足資料があると良い。 ・事業所の防災計画はわからない。	・コロナ情勢によって異なってくるが、防災計画がわかるようにしてゆく。
--------------------	--------------------------	---------------------------------------	--	------------------------------------